

講義ユニット名	放射線腫瘍学		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	ながた やすし 永田 靖	所属	放射線腫瘍学講座 (内線 6831 )	
		メール	nagat@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	にしふち いくの 西淵 いくの	所属	放射線腫瘍学講座 (内線 6831 )	
		メール	ikuno@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	放射線科学を臨床に適用するにあたっての基礎を多面的に講義する。放射線物理学および放射線生物学を概説し、放射線の人体への影響の知識を踏まえて放射線防護と安全管理に関わる講義を行う。医療法および放射線障害防止法の記載事項についても触れる。続いて放射線の臨床適用について総論と各論を詳説する。			
講義ユニットの 到達目標	放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 種々の正常組織の放射線感受性の違いを説明できる。 放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的障害を説明できる。 放射線による障害の原因や対処等を概説できる。 放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。 放射線診断・治療による副作用と障害を説明できる。 放射線防護と安全管理を説明できる。 現代医学における放射線の有効的活用について具体的に説明できる。			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は試験(本試験、追試験とも)の受験資格を与えない。			
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。ただし59点以下が多数名の場合は考慮する。			
推奨参考書	【学習に有用な参考書等】 放射線を科学的に理解する(丸善出版・2012)			